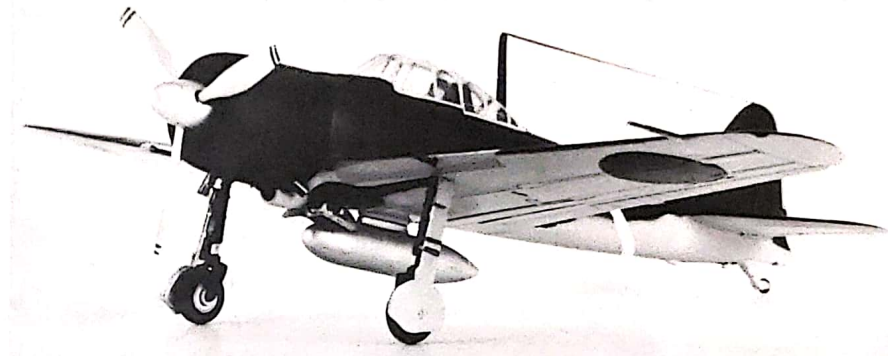


MITSUBISHI ZERO (A6M3) TYPE-22

1/72スケールシリーズ
日本海軍艦上戦闘機22型



〈零式艦上戦闘機22型について〉

日本海軍では、その兵器が制式採用となった紀元年号の末尾の数字2字、または1字をとって〇〇式とよんでいました。零戦は、2600年(1940年)に採用となったので、末尾をとって零式艦上戦闘機と呼びました。これを略して零戦(れいせん)といいました。現在は、ゼロ戦と呼ぶ人が多いけれども正しくはレイ戦です。この零戦は、試作機などもいれれば20種類ほどあり、10,098機製作されました。そのうち、この零戦22型は、560機できました。32型がラバウル方面に配置された昭和17年夏ごろから、ガダルカナル攻防戦が激しくなりました。ところがラバウルからガダルカナル島までは、片道1000km以上もあり燃料容量の減った上に燃料消費量の増加した32型では、航続力が不足でこの作戦には使えませんでした。そのため日本海軍は、32型の主翼を再び全幅12mに戻して、左右外翼内に各45ℓ入りのタンクを増設しました。こうしてできた22型は、17年秋には早くも第一線に姿を表わしました。この航続距離の増した22型は、現

地のパイロットの間では、32型に比べて断然評判が良く、零戦の全型式を通じてもっとも円熟した型でといえるでしょう。戦争も末期になると、日本軍の名パイロットも少なくなり空戦技術も平均すると米軍の方が優れていました。米軍は、次々と性能の向上した新鋭機をおくりだしてきました。それに比べて日本軍は、零戦にたよりすぎ、後継機ができず苦戦を重ねていきました。

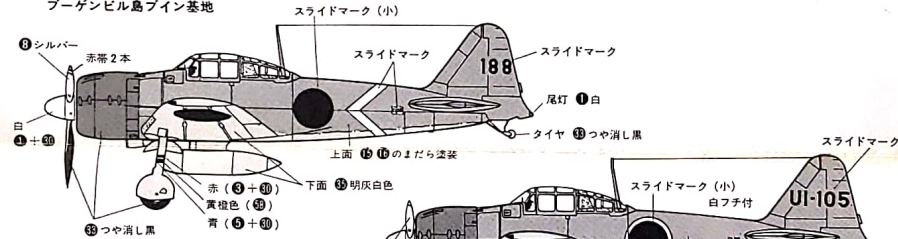
〈主要データ〉

発動機：栄21型 空冷複列星型14気筒
公称出力：1,100馬力
全幅：12.00m 全長：9.087m 全高：3.525m
全備重量：2,679kg
最大速度：538km/h(高度6,000m)
武装：7.7mm機銃×2 20mm機関砲×2
30~60kg爆弾×2
生産数：560 乗員：1名

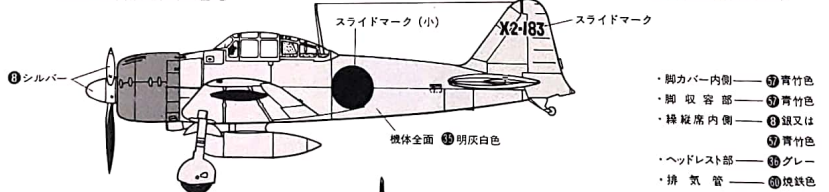
Marking & Color Painting Guide

〈マーキング及び塗装参考図〉

① 空母瑞鶴所属機 昭和18年
ブーゲンビル島ブイン基地

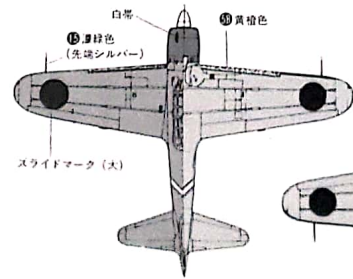


③ 第202航空隊 昭和18年6月~19年
セレベス島ケンダリー基地

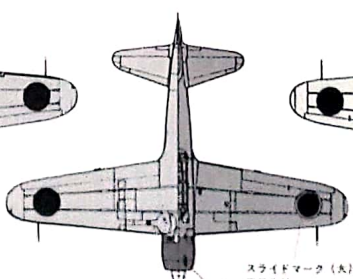


- ・胴カバー内側——④青竹色
- ・脚収容部——⑦青竹色
- ・座席内側——③銀又は⑦青竹色
- ・ヘッドレスト部——⑧グレー
- ・排気管——⑩焼鉄色

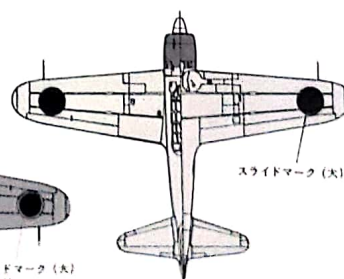
①の上下面図



②の上下面図



③の上下面図



零戦(ぜろせん)の塗装について

零戦の塗装は初期には全周明灰白色が標準でしたが昭和17年頃から上翼緑色のマダカ装、下翼の緑色が多くなりました。昭和18年には上翼緑色、下翼明灰白色になりました。カウリングは少し緑の混入した黒で塗装されました。脚収容部、胴カバー内側は青竹色、燃料は黒、座席ハブは銀色です。座席内側は青竹色又は銀色、ヘッドレストの部分はグレー、アンテナ支柱は機体と同色又は青緑色です。

スライドマークのはり方

- 1 マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとってください。
- 2 先に印刷位置かへていただき、
- 3 マークを台紙から切り取り所定の位置におき、台紙をはずして貼ってください。
- 4 マークの上からかわらかいておき、余分な水分を拭きおしてください。

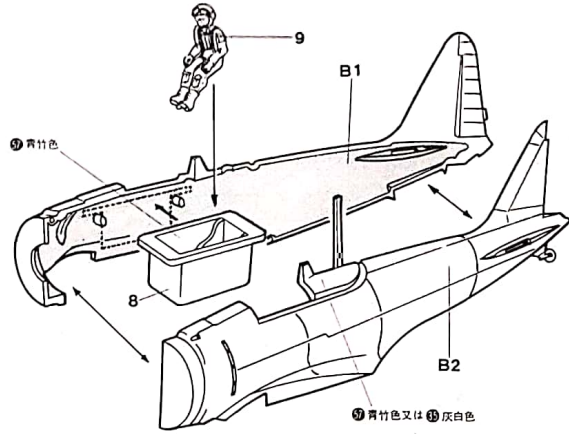


プラスチックモデルをより楽しくするために各部品を塗装して下さい。①-⑩の番号はモデルカラーの番号です。筆は広い部分を塗る筆と、小さな部分を塗る細筆を用意し、塗る部分によって使い分けてください。



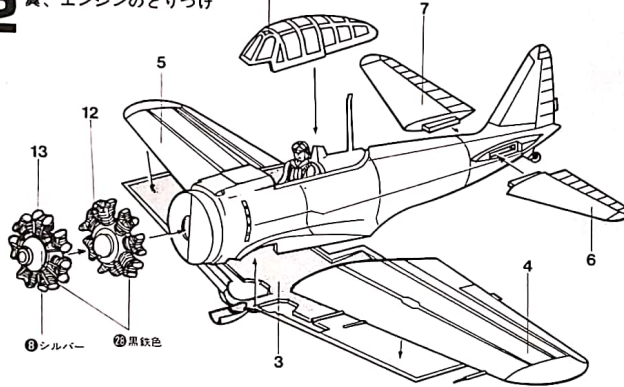
1 胴体のくみだて

★胴体1にBをとりつけてから胴体2を接着します。

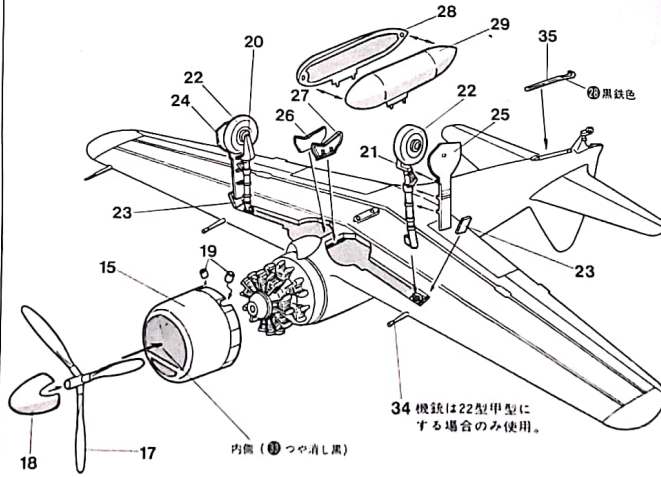


2 翼、エンジンのとりつけ

風防 (ワクの部分だけ機体と同じ色で塗装します。)



3 部品のとりつけ



★くみだてるまえに

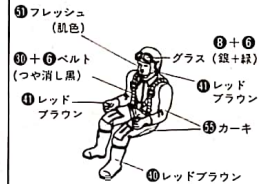
- 透明塗料をよく見て、指示に従って作ってください。
- 部品をランナーから切り出す時はニッパー又は、カッターを使ってください。

★モデルカラー1-60

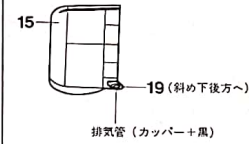
①-⑩の番号はモデルカラーの番号です。くみだてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

本誌商品買取表示法による接着剤買取表示
 ①以上の1番 ②以上の2番 ③以上の3番 ④以上の4番
 ⑤以上の5番 ⑥以上の6番 ⑦以上の7番 ⑧以上の8番
 ⑨以上の9番 ⑩以上の10番 ⑪以上の11番 ⑫以上の12番
 ⑬以上の13番 ⑭以上の14番 ⑮以上の15番 ⑯以上の16番
 ⑰以上の17番 ⑱以上の18番 ⑲以上の19番 ⑳以上の20番
 ㉑以上の21番 ㉒以上の22番 ㉓以上の23番 ㉔以上の24番
 ㉕以上の25番 ㉖以上の26番 ㉗以上の27番 ㉘以上の28番
 ㉙以上の29番 ㉚以上の30番 ㉛以上の31番 ㉜以上の32番
 ㉝以上の33番 ㉞以上の34番 ㉟以上の35番 ㊱以上の36番
 ㊲以上の37番 ㊳以上の38番 ㊴以上の39番 ㊵以上の40番
 ㊶以上の41番 ㊷以上の42番 ㊸以上の43番 ㊹以上の44番
 ㊺以上の45番 ㊻以上の46番 ㊼以上の47番 ㊽以上の48番
 ㊾以上の49番 ㊿以上の50番 ㊿以上の51番 ㊿以上の52番
 ㊿以上の53番 ㊿以上の54番 ㊿以上の55番 ㊿以上の56番
 ㊿以上の57番 ㊿以上の58番 ㊿以上の59番 ㊿以上の60番

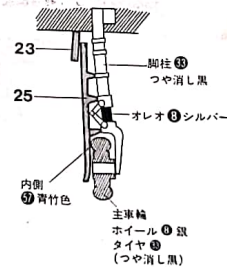
★パイロット 塗装参考図



★排気管とりつけ参考図

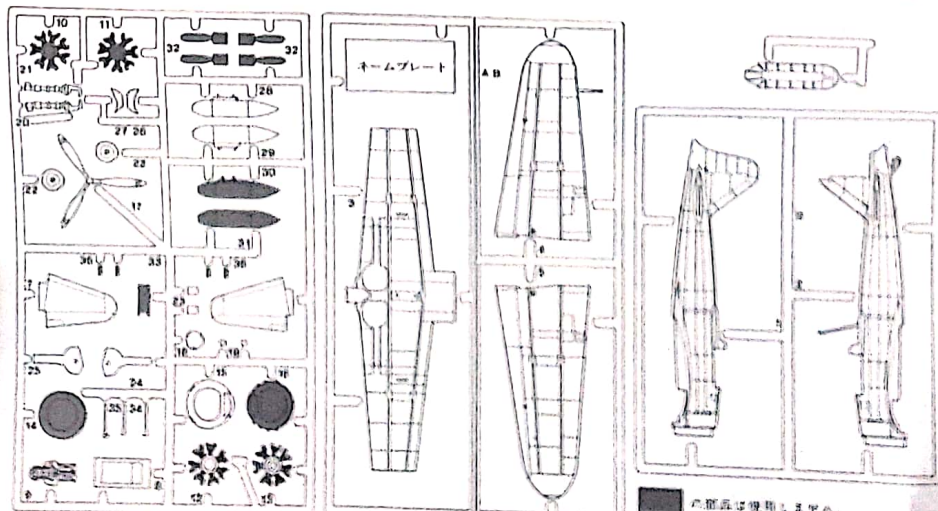


★主翼とりつけ参考図 (右側)



パーツ表

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 胴体 (右) | 19. 排気管 |
| 2. 胴体 (左) | 20. 主脚柱 (左) |
| 3. 主翼下面 | 21. 主脚柱 (右) |
| 4. 主翼上面 (左) | 22. 主車輪 |
| 5. 主翼上面 (右) | 23. 主車輪トビキ |
| 6. 尾翼 (左) | 24. 主脚カパーA (左) |
| 7. 尾翼 (右) | 25. 主脚カパーA (右) |
| 8. コックピット | 26. 主脚カパーB (左) |
| 9. パイロット | 27. 主脚カパーB (右) |
| 10. 後列エンジン | 28. 増加タンク (左) |
| 11. 前列エンジン | 29. 増加タンク (右) |
| 12. 機銃 | 30. 機銃 (甲型にする場合のみ使用) |
| 13. プロペラ | 31. スピナー |
| 14. スピナー | 32. 香腸パック |
| 15. スピナー | 33. 香腸パック |
| 16. スピナー | 34. 香腸パック |
| 17. スピナー | 35. 香腸パック |
| 18. スピナー | 36. 香腸パック |



この部品は得難いかもしれません。